

## 大槌発

### 浪板海岸再生で署名提出

震災で砂浜が失われた大槌町の浪板海岸を再生してほしいと、浪板でサーフショップを営むプロサーファーの杉本浩さんが全国から寄せられた2万1311人の署名を平野公三町長に手渡しました。県内では被災した海水浴場のうち山田町の浦の浜海水浴場が今年の夏に海開きする見込みで、陸前高田市の高田松原も今年、本格的な復旧工事に入る予定です。(1/12 ニュースエコー)



てほしいと、浪板でサーフショップを営むプロサーファーの杉本浩さんが全国から寄せられた2万1311人の署名を平野公三町長に手渡しました。

## 宮古発

### 早採りワカメ出荷式

宮古市の重茂漁協がブランド化している早採りワカメ「春いちばん」の出荷が始まりました。去年は過去最高の36トンが出荷されましたが、今年は台風の被害や年末のし



けの影響で、初日としては例年の半分の出荷量にとどまっています。「春いちばん」の出荷は2月下旬まで行わ

れます。(1/12 ニュースエコー)

## 大船渡発

### 三陸・つばきまつり

ツバキが自生する北限の地といわれる大船渡で「つばきまつり」が始まりました。「世界の椿館・碁石」



では、地元の保育園児が七福神の舞を披露し開幕に花を添えました。ここには13か国600種のツバキが集められ、ピンクの花をつけるアメリカや真紅の花の周りが白い

産の「ファッションイト」長崎産の「玉之浦」など色とりどりの花を楽しむことができます。つばきまつりは3月20日まで行われます。(1/14 ニュース)



## 陸前高田発

### 再建の新校舎で始業式

先月末に新校舎が完成した陸前高田市米崎町の高田東中学校で全校生徒184人が真新しい体育館に集まり、3学期の始業式が行われました。式のあと生徒たちは木の香りに包まれた新しい学び舎での学校生活を喜んでいました。(1/15 ニュースエコー)



## 陸前高田発

### 阪神大震災で鎮魂の祈り

阪神・淡路大震災から22年。神戸市の「1.17希望の灯り」から火が分けられた「3.11希望の灯り」が贈られた陸前高田市でも市民ら20人が阪神・淡路大震災の地震発生時刻である午前5時46分に合わせて黙とうを捧げました。集まった人たちは、大きな被害をもたらした二つの震災の記憶を語り継いでいこうと誓っていました。(1/17 ニュースエコー)



## 宮古発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

みやこハーバーラジオの田澤沙綾さんが、宮古市の指定天然記念物「チョウセンアカシジミ」について伝えてくれました。シジミ貝が口を開けた時のような大きさと形で、赤よりもオレンジ色に近い色のチョウです。生息地域は国内では岩手、山形、新潟の一部で、幼虫はトネリコの木を食べます。限られた地域にしか生息していないため希少性から乱獲されるようになり、絶滅が危惧されています。「チョウセンアカシジミの会」の尾形洋一代表は、トネリコの木の植樹を呼び掛けています。(1/18)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122